

CompTIA®



**新型コロナウイルス感染症による休校措置に関する
学校機関の意識調査アンケート結果**

**2020年5月
CompTIA日本支局**

調査サマリー

■ 学生の現状：オンライン授業の受講状況

オンライン授業を受講するにあたり、67%の学生が参加できる、32%の学生が参加できるが不安があると回答しています。ほぼすべての学生が受講には問題がないものの、いくつかの不安要素があげられています。

不安要素としては、「通信障害」「理解度」「学習効果」、そして、「自宅での学習のため真面目に取り組めるか/集中できるか」といったことがあげられています。さらに、少数意見ではあるが、「学習意欲の低下」「生活リズムの乱れ」などの回答がありました。

■ 学生の現状：学習面、生活面、就職活動等で「よくなったこと、できるようになったこと」

自学学習による移動がなくなった分、学習する時間が増えたため「勉強の時間が多くとれるようになった」といった回答が見られました。また、移動による費用が削減されているため通学費、通学時間が無くなったおかげでお金と時間が出来たと回答されています。就職活動に関しては、「就活はweb会社説明会が多くなったので、気軽に参加できるようになった」といった意見もあげられ、特に首都圏以外の学生にとってメリットがあるとの意見があげられています。

■ 学生の現状：学習面、生活面、就職活動等で「悪くなったこと、できなくなったこと」

この項目では、特に就職活動についての懸念が多く寄せられています。「就職活動の幅が圧倒的に狭くなった」、「就職が決まるのが遅くなった」、「就活自体がストップ」、「就活をどうすればいいのか分からない」、「この状況下なので、就職課の先生に相談しに行けなくなってしまった」のような就職学年にとって、予想できない事態に陥っている様子が伺えます。

また、58%の学生が何らかの形でオンラインキャリアイベント、オンライン就職支援イベント（業界、職種研究、求める人物像）、オンライン企業研究会、会社説明会を希望していると回答しています。今の不安定な状況の中、就職できるかがとても不安であると切実な学生の思いが伺えます。

■ 教員の現状

92%の教員がオンライン授業を導入していると回答し、オンラインへのシフトが急務となっていることが伺えます。オンライン授業を導入する上での懸念点としては、学生側の環境問題（学生がPCを所持しているか）、学生の進捗状況の確認（演習などの進捗状況、理解度の確認）、学生側の通信環境が多種であることがあげられています。また、学習効果の保証、オンラインでの教授のスキル不足の克服などの課題があげられています。

■ 教員からの回答としても目立ったものとしては、学生同様に、求人中止、企業説明会中止、web面接に伴う環境構築ストレス、Web面接での評価への不安と就職に関連するものが多くあげられています。さらに、個々の学生へのケアができない点も挙げられ、対面式によるコミュニケーションを希望される意見が多く見られました。

そのため、学校機関の取り組みとしては、学生にとって満足できる遠隔授業の提供、遠隔授業のスキルアップとノウハウの蓄積、環境整備などが急務で進められています。

■ 学校機関から業界への期待としては、学生の就職活動のサポートへの期待や、職業実践専門課程で企業と連携した授業の機会が確保できないことからオンラインでできるセミナーや、連携授業などの要望が多く見受けられます。また、この中の47%が就活関連のセミナーの開催を希望しており、学生同様にオンラインキャリアイベント、オンライン就職支援イベント（業界、職種研究、求める人物像）、オンライン企業研究会、会社説明会のサポートを期待していることが分かりました。

CompTIA®

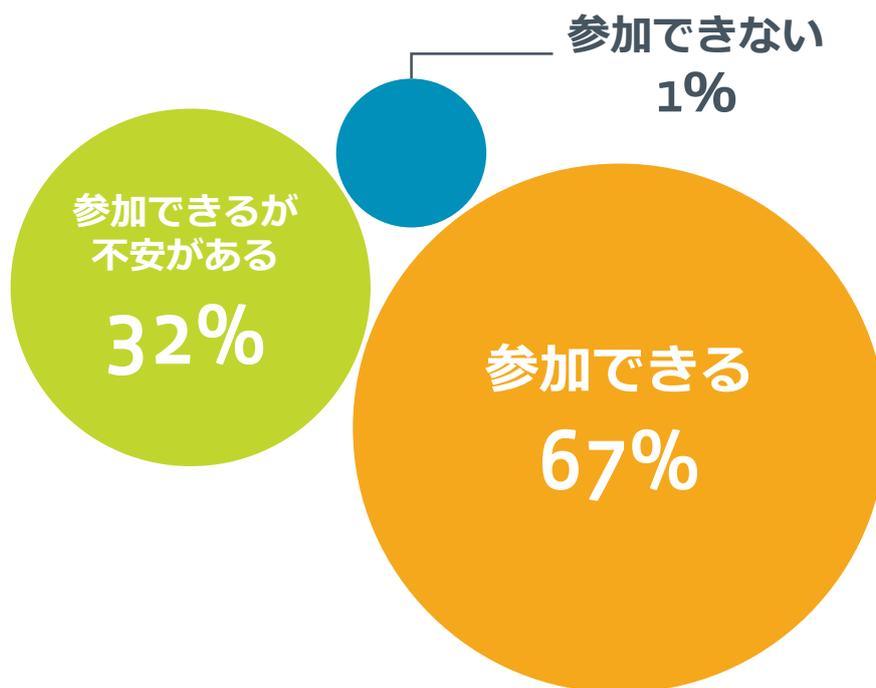


新型コロナウイルス感染症による休校措置に関する 学校機関の意識調査アンケート結果

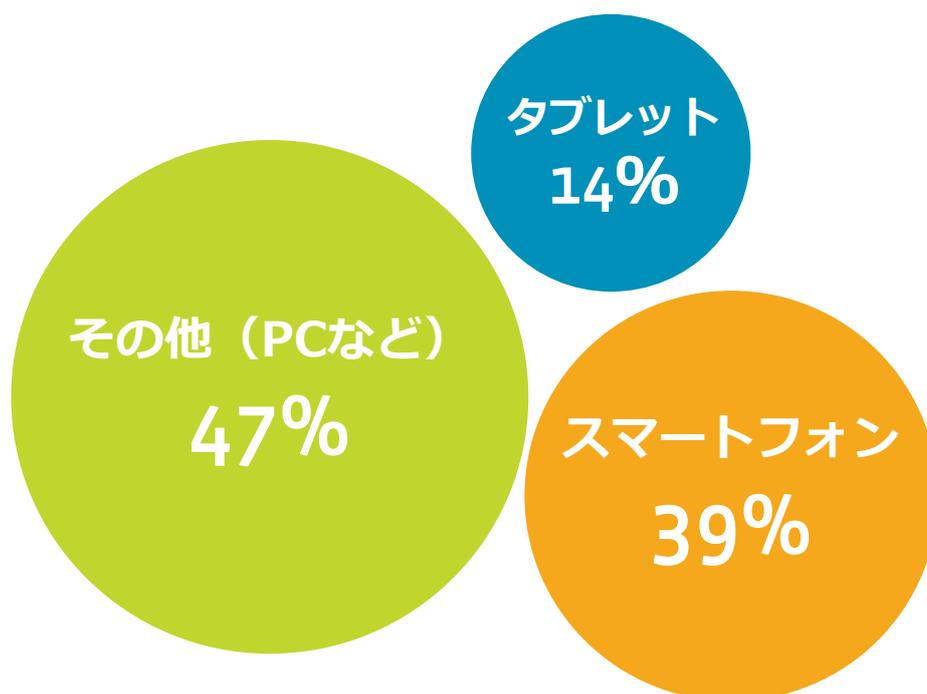
～学生調査～

アンケート集計（学生）

オンライン授業について

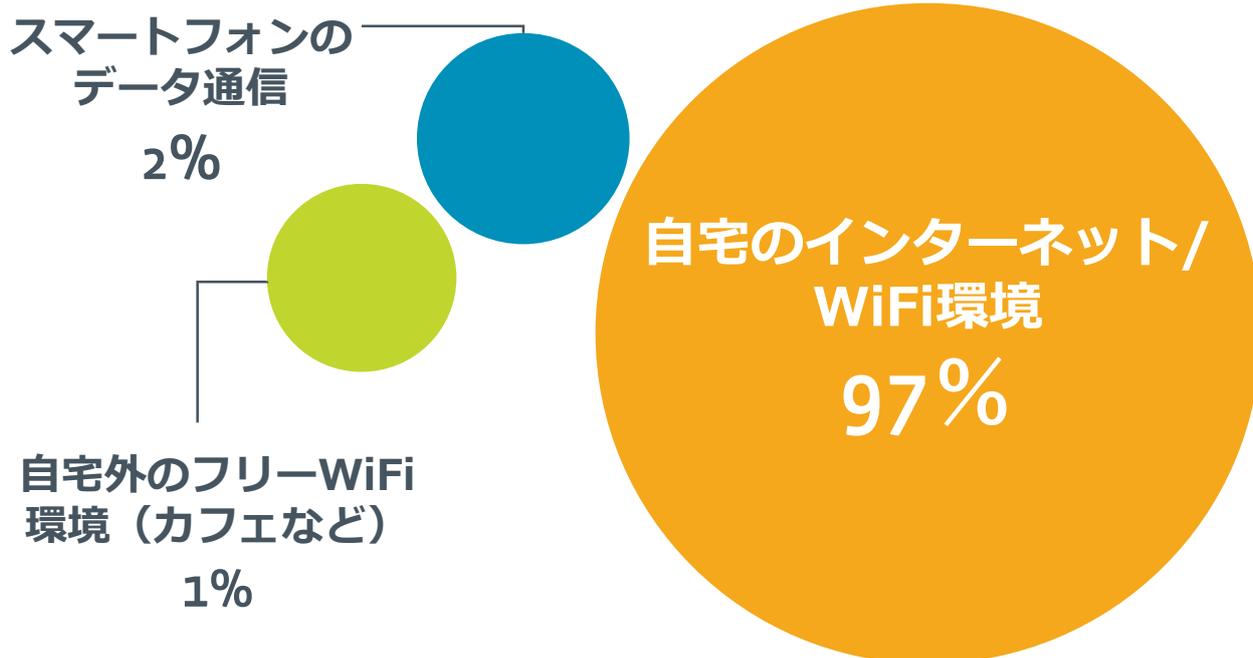


オンライン授業を受ける際に利用できる環境はどれですか

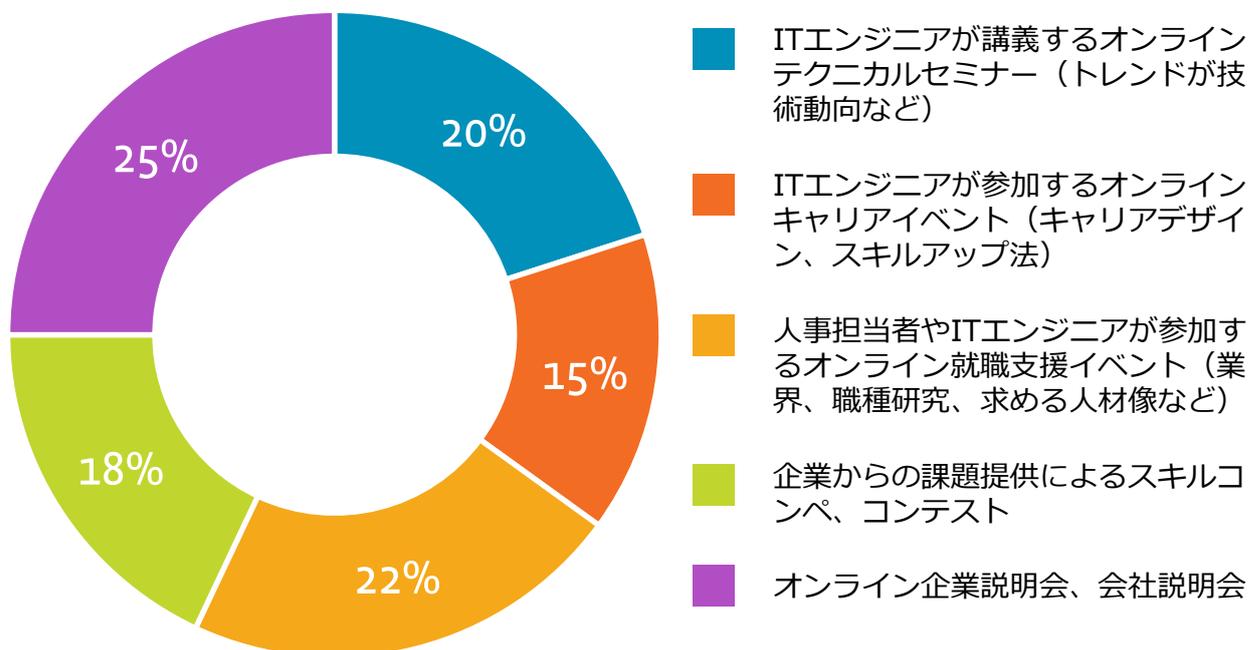


アンケート集計（学生）

オンライン授業を受けるにあたり
一番に利用を考えるインターネット環境はどれですか



提供できるとすれば、どのような企業ガイダンスに興味がありますか



アンケート集計（学生）

オンライン授業を受けるにあたって、不安に思うことは何ですか

- 授業が真面に聞けるのかが心配
- 理解度（5）
- 少人数のグループで行う授業の情報共有と意見交換
- 対面授業の利点を潰してしまうのではないか
- オンライン授業ということでちゃんと勉強できるか、友達はできるか、どんな授業をするのか、参加出来ない場合はどうすればいいのかなどが不安
- 出席の確認等（2）
- どの程度の通信量になるのかが気になる。自宅のWiFiが無制限ではないため
- 学習面において期間が空いたので、javaの知識や周辺機器など情報に関する単語などの知識が低下したこと
- オンライン授業でしっかりついていけるか（5）
- 授業開始時間などの時間（2）
- 授業内での理解度が追い付かない場合の復讐等の授業があるかどうか
- webカメラが必要かどうか
- 分からないことを友人に聞けない点が不便
- 学習環境の確保
- 姿勢が画面又はカメラを見るので、長時間になると少し辛そう
- セキュリティ面が心配
- 通信障害（25）
- 生活リズム
- 個々人の質問にしっかりと反応し指導することが出来るのかどうか（2）
- 新たな授業を受けていくにあたって生徒が分からないこと全てに対処できるのか
- 自分は人が身近にいて初めて分かったりなどするので正直オンラインでもしなくてもいいと言う不安
- カメラが倒れてあまり見られたくないところが見えたりすること
- 就職活動でのオンライン面接
- ビデオ通話をあまりしたくない
- 先生と同じ操作ができるかどうか不安。またできた時、それがあっているかどうか不安
- 課題の提出に行き違いや送信エラーによる未提出扱い等
- 相互の意思疎通の不安定さ
- 授業がスムーズに進むのか不安（3）
- 質問が大変（3）
- 学習意欲の低下。自宅と学校が一緒になってしまうのでメンタル面の不安（2）
- ソフトウェアが予想外の挙動をした時状況を説明できるか不安

アンケート集計（学生）

（学習面、生活面について）現在の状況で学習面、生活、就職活動面等で「よくなったこと、できるようになったこと」があればご記入下さい

- 通学費、通学時間が無くなったおかげでお金と時間が出来た（2）
- 時間が増えた(4)
- 家族の団結力が良くなった
- オンライン上で面接や説明会が行われるため、移動費が浮いた（3）
- 時間がある分成果物製作が出来たり趣味でプログラミングをする時間が多くなり個人的な勉強をする時間が大幅に出来た
- 自分で時間を決めて活動ができるようになった
- 家でも学習出来るようになったこと
- 勉強の時間が多くとれるようになった（2）
- 今後のための情報収集ができる時間が増えた
- テレビなどに出るIT用語を少しずつ理解できるようになった
- PCと向き合う。 資格の勉強
- 少しずつならしていくプログラミング
- 就職活動で、企業のwebセミナーが盛んに行われる用になり、1日に複数の企業のセミナーに参加出来るようになった
- 今までより人と喋る事ができるようになった事
- 自分が苦手だと思っていた言語ができるようになったこと
- 家から出なくていいこと
- 意欲的に物事に取り組む事
- 己を考える時間が増えた
- 家事をするようになった
- JavaScriptのコードがちょっとずつ覚えるようになった
- 空き時間が増えたことで今取っておいた方が良い資格などの勉強や種類などに対して考える時間が増えた
- 実家に帰れたので体調管理はしっかりできるようになった
- 就職で面接で実際に顔を合わせた状態で話すと緊張して詰まり気味になるが、Web同士なので変に緊張せずにできた
- 自分の興味あるものに対する学習がしやすい
- 通学時間がなくなり家で授業を受けれるようになった
- 就活は、web会社説明会が多くなったので、気軽に参加できるようになりました（3）
- 自宅から授業に参加できるので普段より長い時間睡眠が取れるようになった
- メイク時間や移動時間などの短縮
- 遠く(都内など)の企業へ気軽に選考を受けられる
- 就職活動をして、人とのコミュニケーションの取り方を知ることができた。また、適切な言葉遣いや、表情で相手の気持ちを動かせることもわかった
- みんな清潔を心掛けるようになった

アンケート集計（学生）

現在の状況で学習面、生活面、就職活動面等で
「できなくなったこと、悪くなったこと」があれば、ご記入下さい

- メールやSNSのやり取りの手間
- 勉強に集中出来ないこと（2）
- 安定した生活リズムを維持できにくくなった（5）
- 外への外出（2）
- 体調が悪くなった
- 長く家にいることで、体をあまり動かせない状況が続いていて、ストレスが徐々にたまっていつている（2）
- 企業によっては対応が間に合わずコンタクトが取れない
- 学校等外に出る機会が無いため起きる時間が遅くなってしまっている
- 東京方面の就職を考えているので活動がかなり制限されている
- 分からない時に質問をすぐにすることが出来なくなった
- 授業が始まらない（2）
- 自宅学習だと、どうしてもサボり気味になってしまう
- 新しい知識を学べない。もう一度教えて欲しい所等の質問、授業が出来ない
- 就職活動で実際に企業の職場に行く機会が少なくなり、職場の雰囲気を感じ取りにくくなった
- 寝る時間が減った
- コロナのおかげで自習で他の言語を学ぼうとしても自分一人では限界があること
- 行動が制限されること
- 就職活動の幅が圧倒的に狭くなった（6）
- 就職が決まるのが遅くなった（3）
- 就活自体がストップ（3）
- 就活をどうすればいいのか分からない
- この状況下なので、就職課の先生に相談しに行けなくなってしまった
- 無駄な時間が増えた
- 無理な移動が出来なくなったり、みんなと会えないから寂しさを感じる
- 学校へ行けなくなった(先生と連絡を取るのがスムーズに行かない)（2）
- コロナの影響でまだ学校が始まっていないのでわからない
- アルバイト（2）
- 受けれる試験の種類や日時が不明になったことで学習への意欲の行き場が見当たらない
- セキュリティマネジメントやITパスポートなどを受ける予定だったが受けることができなくなった（4）
- 家で授業を受けれるようになったが、PC画面で説明を受けてプログラムを書くのもPCだからやりづらい
- 友達との会話がしにくいいため為、勉強を教え合うのが難しくなった（2）
- 先生に気軽に質問しにくい（2）

アンケート集計（学生）

現在の状況で学習面、生活面、就職活動面等で
「やりたいこと」があれば、ご記入下さい

- 新たにできた時間を利用し、新しい趣味に励みたい
- パソコンに慣れたい
- 成果物製作に力を入れ知識を伸ばしつつ実力をつけていきたい
- スキルアップ
- 健康な生活
- AIに関する知識をしっかりと学びたい
- 長い目で見て役に立つ技術や考え方の修得
- 資格取得に挑戦して、いろんなスキルを身につけていきたい（6）
- この機会にIT業界についてもっと詳しく知りたいと思った
- 勉強
- 自分でサイトを作ってみたい
- プログラミングの勉強がしたい。 ネットワークやプログラミングの勉強を常に出来るようなオンライン授業が欲しい
- 就職活動で実際に会社まで赴きどんなことをしているのか、職場はどう言った雰囲気なのかなど自分の目で確かめたい
- 早く新しいことを学びたい
- いずれ行われる資格試験の学習を継続し、学力をできるだけ落とさないようにしたい
- 実技授業(パソコンを使った)
- Raspberry Piを始めたい
- 就職活動（3）
- 自分が今までにしたことがないことに挑戦したい
- 為替取引、プログラム言語のスキルアップ
- バイト。学校へ行きたい
- 友達と直接お話ししたい。学校の行きつけの飲食店に行きたい
- 旅行（2）

アンケート集計（学生）

現在の状況で学習面、生活面、就職活動面等で「やりたくないこと」があれば、ご記入下さい

- WEB説明会をやっている企業探し
- 都心周辺へ出向いての就職活動
- 留年したくない
- 家族が家にいるときの面接練習
- 不特定多数の人間が集まる試験会場で資格試験を受験すること
- 座学授業
- 就活
- 不要不急の外出（3）
- 鬱になることは避けたい
- オンラインで自分側のカメラをオンにした会話等
- オンライン授業。（録画した動画を見る形式にしてほしい）生配信形式だと家での時間が縛られて嫌だ
- オンライン学習を進める上で、朝早く起きて学校へ行くことの必要性があるのかどうか考えることがあった。これからもオンラインの授業を取り入れて、早起きしなくても良いような環境づくりを学校側にも求めたい

（企業ガイダンスについて）企業ガイダンスとして、他にご希望の内容がありましたらご記入下さい

- 趣旨がズレてしまっているかもしれませんが今は自粛ってこともありますので企業様によるオンライン上でのインターン等があるとありがたいと個人的に思っています

アンケート集計（学生）

現在の状況の中で、今後の不安、学校への希望があれば、ご記入ください

- 学校に無駄に登校しなければいけないこととかあったのでこの状況を機会にネットでのやり取りで済むようにしてほしい
- 同じクラスの人との交流が少なく仲良くなれるか不安
- コロナウイルスがいつ頃落ち着くかという事が一番の不安です。学校への希望と致しましては登校がない分施設費等の学費の返却等金銭的な部分の考えやオンライン授業をする際の環境の詳細、セキュリティ面での精査をしていただきたいと思っています
- オンラインの授業でちゃんと知識が身につくのが不安ですが先生がオンラインでどんな授業をしてくれるのか楽しみでもあります
- スケジュールが今後どうなるか気になる（3）
- 今の状況で学校に通うのが不安（2）
- 安全に勉強したい（2）
- 勉強追いつくかどうか。 まだまだ基礎知識が曖昧で分野ごとに不備がある
- 今の不安定な状況の中、就職できるかがとても不安（9）
- 今のままで進級できるのか、夏休みがなくなるのか、3年次にキツキツな授業になるのか、オンライン授業でもいいから、早く授業開始を希望
- 今後コロナウイルスが収束せずに資格試験が取りやめになり、学生のうちに予定していた資格試験を受験できないという可能性があることがとても不安
- 資格の勉強に対する補講などの代わりにオンラインで過去問の解説等をして頂けると嬉しい
- オンライン授業でいつもよりさらに内容が薄いのに授業料が変わらないのは不安
- 卒論が不安
- オンライン授業を録画した動画を見る形式にしてほしい。生配信形式だと家での時間が縛られて嫌だなと思うところがある
- 今培っている技術が、実務で役立つのかどうか、という不安がある。また、将来企業で働く上で一人の社会人として責任に耐えられるかどうかという不安

CompTIA®

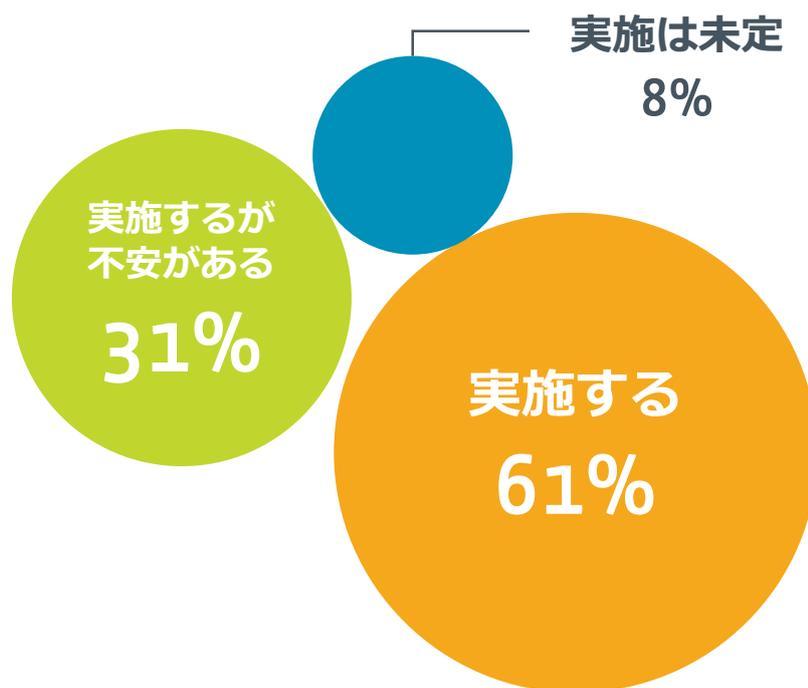


新型コロナウイルス感染症による休校措置に関する 学校機関の意識調査アンケート結果

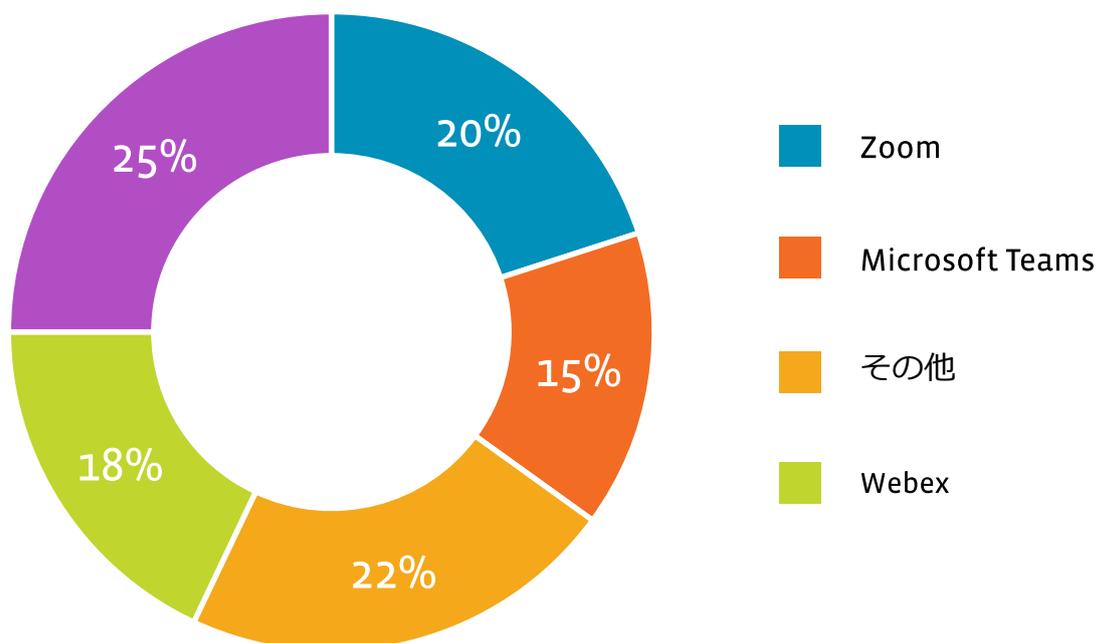
～教員調査～

アンケート集計（教員）

オンライン授業について

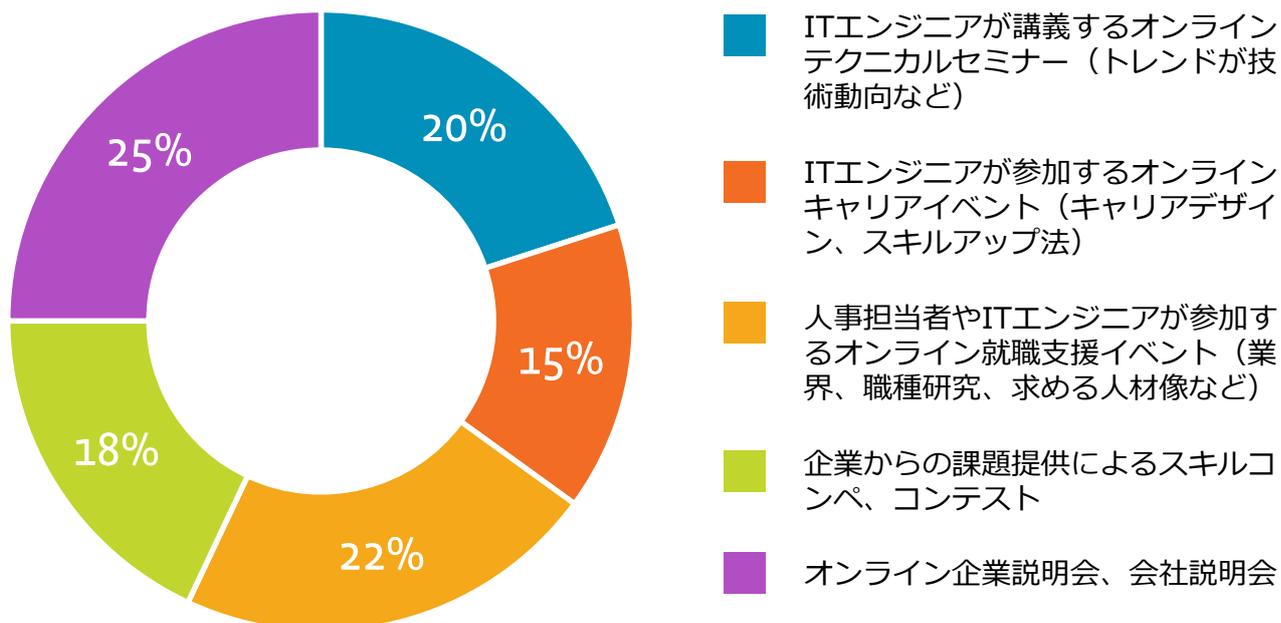


オンライン授業を提供する際に検討しているプラットフォームはどれですか



アンケート集計（教員）

提供できるとすれば、どのような企業ガイダンスに興味がありますか



アンケート集計（教員）

オンライン授業を提供するにあたって、不安に思うことは何ですか

- 今のところは想定できる問題を潰していく作業をしています。特に不安はありません
- 理解度の把握が難しかったり、新入生については大学とのミスマッチや不安な気持ちをわかってやれないんじゃないか
- 学生の顔が見えないので、理解しているかどうかの確認が取れない。一方向の授業になってしまわないか
- 学生側の環境問題 ⇒ 学生がPCを所持しているかなど
- 学生の進捗状況の確認 ⇒ 演習などの進捗状況や理解度の確認が難しい
- 学生側の通信環境が、様々なこと
- 学内の環境が整っていない。教育的配慮（自宅にPCがない、スマホが古い、Wi-Fiがない、電話料金の未払い）等を考えなければならない学生の存在
- 生徒の授業に対する反応が分かりにくいこと。生徒のインターネット環境によって授業を受けられない可能性、実際にオンライン授業で発生する問題が現時点で分からないこと
- 教育の質（学習効果）が保証できるか。教員のスキルがバラバラ。学生の学習環境（PCやネットワーク環境）。大学側インフラ（サーバやネットワーク）
- プログラミングなどの実習系授業の場合、通常は教員が教室を回ってうまくできない学生のフォローをするが、オンラインでの実施が難しい
- グループ制作授業の際の進捗確認やグループ内でのやりとりを確認が難しい
- 学生一人一人の表情を確認できないため、授業の進度管理が難しい
- 生徒の家庭のインターネット環境が異なるのが問題
- 不安というか問題点です。PCや通信環境のない学生をどうするか
- 学生の自宅の通信環境とパソコン環境。通信の品質が悪いと説明が途切れ途切れになり伝わらなくなってしまう。プログラミングやCGの授業など、パソコンを使うことが前提の授業の場合は遠隔授業の実施が難しい
- 学生がきちんと対面授業と同じだけの効果をもって勉学に励めるか。集中して学生が学習することができるか。講師の先生が混乱なく、授業展開できるか

アンケート集計（教員）

現在の状況で学習提供面、学生の生活面、就職活動面で
「よくなったこと、できるようになったこと」があればご記入下さい

- 現状では何も出来ていないので、よくなったこと、できるようになったことはありません
- とりあえずすべての学科がオンライン授業をすることになり、準備を進めている。連休前にすべての学生と接続テストを行った。就職活動は詳しく把握できていないが、オンライン面接が増えたように思う
- よくなったことは特にありません
- オンライン授業で普段は質問できない生徒でもチャットで気軽に質問できること
- 学習はまだ始まっていないので、よくなったことは一つもない。自立学習で自主性が育つことを期待。生活面は、ない。就職活動面は、ネットでの企業説明会が増えた、ネットでの面接指導ができるようになった
- オンラインで授業を実施、配信することで休校中も学習に取り組めた
- 宿題の管理をおこなって、ステイホームの期間の宿題提出率はかなり高い

現在の状況で学習提供面、学生の生活面、就職活動面で
「できなくなったこと、悪くなったこと」があれば、ご記入下さい

- 今まで日々普通に行われていることの全て
- 数え上げたらきりが無いが、採用中止の企業が増えて就職が厳しくなりそうなこと、新入生のケアができないことがトップ2
- これまでは黒板に書けばよかったことが、パワーポイントなどに置き換える必要があり、授業準備が大変。4月中休講だったため、悪くなったことは具体的に分からない
- カリキュラムの予定が消化できていない。学生とのコミュニケーションに限界がある
- 対面しての授業ができないので、学生とのコミュニケーションが取れない
- 求人の中止、企業説明会の中止、web面接に伴う環境構築ストレス、Web面接での評価への不安
- 資格試験の延期による学生のモチベーションの低下。新入生のお互いの顔合わせができないこと
- 学習提供面では、対面授業ができないため、生活面では、部活もできない、友達が作りにくい、大学に慣れることができない、地域で遊べていない、特性のある学生のフォローが出来ていない。就活面では、活動出来ない学生の割合が増えている、呼び出しでの指導もできない
- 学習面、出席管理、就職活動面での細かなフォローが難しくなった
- 家庭環境により、どうしても生徒の学習状況に差ができる
- 学習環境、就活すべてにおいて悪くなりました
- 就職活動の個別指導が難しいこと
- 企業説明会などが少なく、学生たちは就職不安を抱えている。生活が不規則になっており、オンラインでも遅刻する学生が出始めている

アンケート集計（教員）

現在の状況で学習提供面、学生の生活面、就職活動面で
「やりたいこと」があれば、ご記入下さい

- 最低限の授業が提供できること
- 新入生のケアを遠隔で行う。どこまでできるかわからないが
- これまでは、ノートに書くことで覚えるということができたと思う。それに代わる仕組みを何か作りたい
- オンラインで学習できる教材開発
- 対面しての授業、指導
- 特に情報演習での遠隔授業に伴う学生環境の無償整備（レンタル含）
- 授業のほかに毎週オンラインでオリエンテーションを開催したい
- 学生にとって満足できる遠隔授業の提供と、遠隔授業のスキルアップとノウハウの蓄積、環境整備（生活面では、直接会わずにやったほうがよいものが思いつかない）就活面では、ネット面接は今後も増やして行きたい（学生の移動の負担が少なくなるので）
- オンラインで行うことで距離が関係なくなるため、遠方にいる企業の方や他校の学生さんとのディスカッションや交流を試みたい
- とにかくどんな小さなことでも良いので学生のためになること。学生のサポートに最大限の力を使いたい
- 個別の面接指導や就職指導
- 企業説明会の開催。少しでも学生達に夢、希望を持てるオンラインイベント実施

現在の状況で学習提供面、学生の生活面、就職活動面で
「やりたくないこと」があれば、ご記入下さい

- 授業が全く行えなくなってしまうこと
- 学生の生活の把握が難しい。もし授業に参加しなくなった学生がいたら、その学生のモチベーションを上げることが難しいだろう
- 対面式の授業と比較すると複数からの質問を受け付けるのが難しい
- 教育的配慮が必要な学生への対応と遠隔授業のブランディングによる業務の大幅な増加、教職員へのICTスキル支援（授業内容を知らないスキル応援では単にテクニカルになってしまう）
- 学生と会って、近くで話してはいけない状況は、もう勘弁してほしい
- アナログ作業(学籍簿やアンケートの郵送、回収、集計など)

アンケート集計（教員）

（業界団体・企業が学生向けに提供する企業ガイダンスについて）
他にご希望の内容がありましたらご記入下さい

- 今の所想像が付きません
- 例年4月スタートであったのが今年は5月スタートで遅れているうえ、オンライン授業である中で、学生の理解度をどうしたら例年並みに維持できるか

現在の状況の中で、今後の不安、業界団体への希望があれば、ご記入ください

- 今は自分たちのことで精一杯
- 4年生の就職活動での不安がなくなるようにしてもらいたい。具体的には、出向かなければならない面接や説明会をなくし、なくした分以上の機会をWeb上で設けること。Web上で行う際にもビデオを記録することはやめてもらいたい。記録するなら、説明会や面接以前に記録することを公表の上、それに同意した人だけが参加するようにしてもらいたい
- リーマンショックの時は突然採用がなくなったが、そのようなことがないよう、できれば例年並みの新卒募集があることを期待
- 認定試験も自宅で受けられるとありがたい
- 授業がいつ再開できるか
- 終息の時期が読めないことが不安。アフターコロナでの社会や大学のあるべき姿を一緒に考えて欲しいこと
- 就職先がなくなってしまうのではと、とても心配しています。採用を自粛されている企業も多いですが、学生の就職活動に是非ご協力をお願いしたい
- 年間の授業日数が短くなっても、卒業年度生は、3月に卒業することが変わらない以上、卒業までに就職先を決めなければならない。また、職業実践専門課程で、企業などと連携した授業の機会が確保できないことが厳しい。オンラインでできる、セミナーや、連携授業などのご理解とご協力をお願いしたい
- 人材採用、募集があるのか。またインターンシップの機会創出など。保護者の方への業界説明など



調査について

実施期間：2020年4月23日～2020年5月15日

調査対象：CompTIA CAPP Academy Program に加盟160校の大学、
専門学校、高等専門学校、高等学校機関

有効回答件数：134件（教員、学生を含む）

調査方法：メール、インターネット調査

分析：CompTIA日本支局